

議会の動き

《本会議》

- ・ 3月 8日～
3月25日 第1回定例会
- ・ 6月15日～
6月23日 第2回定例会

《臨時会》

- ・ 2月 8日 第1回臨時会
- ・ 5月23日 第2回臨時会

《委員会》

【議会運営委員会】

- ・ 2月29日 第1回定例会の運営について
- ・ 3月14日 議会改革について
- ・ 3月23日 議会改革について
- ・ 6月 7日 第2回定例会の運営について

【常任委員会】

- ・ 1月26日 総務産業建設常任委員会
- ・ 2月 8日 文教厚生常任委員会
- ・ 2月16日 文教厚生常任委員会
- ・ 2月25日 総務産業建設常任委員会
- ・ 3月 9日 文教厚生常任委員会
- ・ 3月14日 総務産業建設常任委員会
- ・ 3月15日 文教厚生常任委員会
- ・ 4月20日 文教厚生常任委員会
- ・ 5月26日 文教厚生常任委員会
- ・ 6月 8日 総務産業建設常任委員会
- ・ 6月15日 文教厚生常任委員会
- ・ 6月16日 文教厚生常任委員会
- ・ 6月21日 総務産業建設常任委員会
- ・ 7月27日 文教厚生常任委員会

【特別委員会】

- ・ 3月24日 串本町総合開発特別委員会
- ・ 5月27日 串本町総合開発特別委員会
- ・ 7月11日 議会広報特別委員会

一般質問

人口減少について

2015年国勢調査において、串本町は人口減少率で県下で6番目に高く、新宮・東牟婁で1番であった。前回の2010年より1,690人減少の16,559人で県下1番の高齢化率である古座川町より減少率が高かった。これらの要因のひとつに古座川町は、U・イターンが過去5年間の統計では年平均77人が移住し、内約6割の46人が定住しているデータがある。これに対し串本町は、平成22年から平成24年実績で7世帯11名、年平均2.3世帯3.7人しか移住していない。

地方版総合戦略人口減対策において、2015年の目標



漆畑 繁生

が16,813人となっているが、国勢調査においてすでに254人減っている。10月に立てた計画が翌年3月末にも目標未達になっているのです。これら計画達成のための責任の部署が決まらず、また毎月計画の数値目標がないため、年度末でなければわからない状態であり、これでは目標の達成状況がわからず改めるべきである。

人口減少は地域経済力の低下を招き、特に小売業に打撃を与えている。約1,700万人消費で17億円減ることになります。

地域経済を再構築するためには、経営・組織マネジメント、市場競争に打ち勝つために必要な能力を持った人材を地方へ再配置する政策が必要不可欠であるとしている。

地域おこし協力隊制度を利用し、雇い入れることができ



第1回定例会 3月8日～3月25日

人事案件・補正予算案件・当初予算（一般会計・特別会計）の計58件が提案されました。

議案審議は順調に進み、予定より2日余り早く終了することができました。

一般質問には9名の議員が登壇し、各議員の活発な質問が行われ無事終了することができました。

第2回定例会 6月15日～6月23日

報告案件・人事案件・補正予算案件他28件が提案され、慎重に審議が行われました。

一般質問には8名の議員が登壇し、活発な質問が行われ無事終了することができました。4月の人事異動で新たに昇任された課長さん方にとって、初めての議会でしたが、皆さん堂々と答弁を行っている姿を拝見し、感心させられました。

議長就任後1年を経過しました。

議会運営に不安もありましたが、議員の皆様、当局の皆様のご協力をいただきながら自分なりに無事務められたと感謝しています。残り8カ月さらに気を引き締めて議会運営に努めてまいります。

この度、東牟婁郡町村議会議長会会長、和歌山県町村議会議長会会長、全国町村議会議長会監事に就任致しました。輪番での就任ではありますが、大変名誉なことと思っております。

就任以来、会合イベントへの出席、和歌山・東京への出張と多忙なスケジュールで大変ではありますが、せっかく与えていただいた職務でもあり光栄に思っております。

全国の都道府県会長さん方と意見交換や情報交換をしたり、親睦を深めたりと私自身良い経験をさせていただいております。こうして得られる色々なことを今後の議会運営に生かしていければと思っております。



串本町議会議長
寺 町 忠

第1回定例会（3月）、
第2回定例会（6月）を終えて